

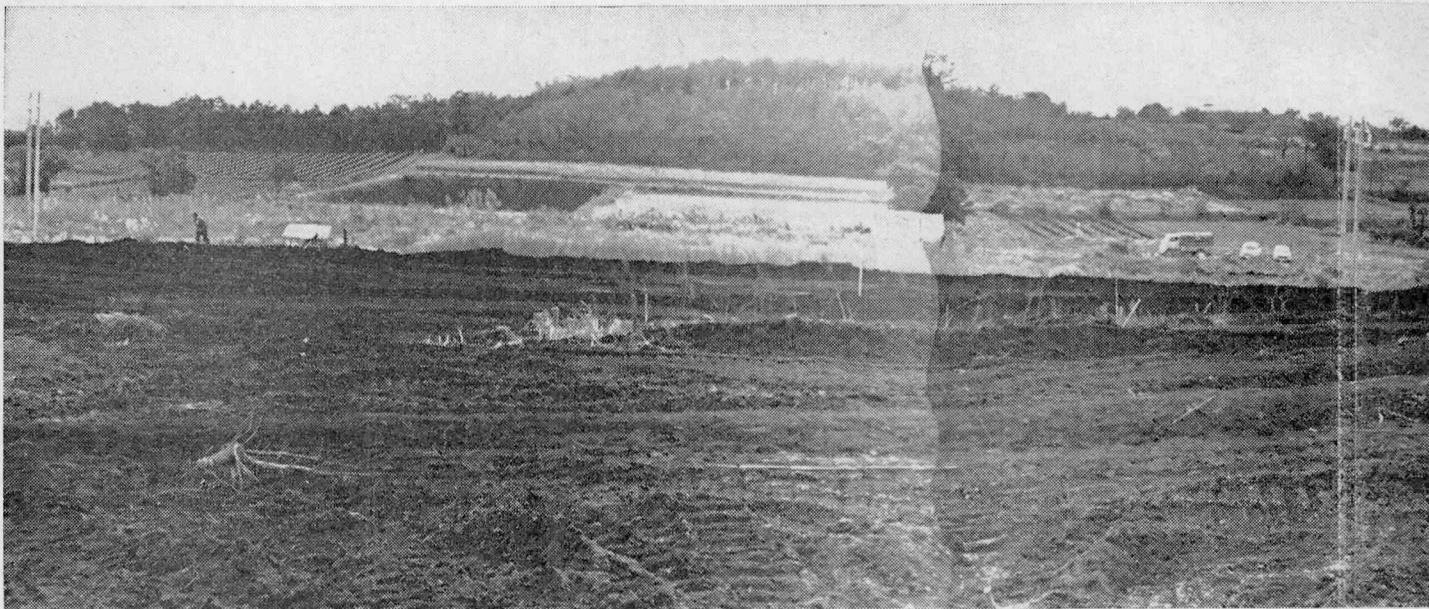


大根占町 おおねじめ

昭和46年11月15日 No. 225

編集と発行 鹿兒島県肝属郡大根占町役場
企画室 企画係
(電話 大根占局 2-0511~0515)
印刷 逆瀬川印刷所 (電話 2-0140)

町の人口 昭和46年11月1日 現在推計人口
男 4,854 人 計 10,690 人
女 5,836 人
前月より 14人減



榎木ヶ平の開発進む

茶園地として四ヘクタールを造成

農業政策は十年前には予想だにできなかった米の過剰などによる水田休耕を進め、それに対し奨励金を支給するといったように、非常に変動しておりました。農家、指導者においてもとまどっている状況にあることは、みんなが認めているところです。

このようななかで農業をなんとか切開いていこうと、茶園地の造成が進められています。ここは、塩屋上の台地で厚ヶ瀬線から五百メートル入り込んだ通称榎木ヶ平というゆるやかな山林や畑のあつた傾斜地です。現在、県開発公社の手で造成工事が行なわれており、すく、完成し、すくと約四ヘクタールの畑になる予定、ここに四名の方々が一人一ヘクタール程度植栽されますが、五、六年たち成園になり、すくと相当量の収量は上がることはもちろん、附近一帯は見違えるような光景になることでしょう。

また、天水を利用するための家とタンクも同時に建設されます。昔のように農家戸数も多く農繁期には、ゆい、手間替えのできた時代はとくに過ぎさり、一時的に頼める労働力もそう期待できないいまでは耕作地の分散をさけ集約、集団化していくことが省力につながり、一方指導面

收容人員七〇人に

「大根占錦江園」の増築

明年三月に完成

老人ホーム入所該当者を少しでも多く收容し、老後を心配なく安心して生活していただくため、現在の老人ホーム「大根占錦江園」の増築を計画、県に申請してまいりましたところこのほど補助金の決定、起債の予定が決まりましたので、同工事に着手しました。

この増築分は現施設の西側の松林を約二〇〇平方メートル伐採、補強コンクリートブロック造平家建、三二〇平方メートルのもので、総工事費一、一〇七万円、明年三月に完成する見込みです。施設の内容は、居室(八畳間)六室調理室、食堂兼談話室、霊安室、風呂場などとなっております。今よりも二〇人多く收容できることとなります。これで同ホームは收容人員七〇人で、県下でも上級の施設をはこる養護老人ホームとなります。事業費の財源については、国県支出金七四三万円、みなさんが毎月掛けている国民年金の還元融資を二二〇万円受け、不足分を町税などのような自主財源でまかなうことになっていきます。

老人福祉対策については、色々の手がうたれておりますが、老人ホームもそのひとつです。入所には一応六十五才以上で生活に困っている、ひとりつきりだ、扶養者との折り合いが悪いなどの事情のおとしよりを対象としています。施設にあつては、毎月一千元のお小遣い、四回のタバコ、菓子の支給、日用品(石けん、紙など)を一回と、おと

大根占町誌

発刊さる

町のうつり変わり、全貌をひとつにまとめられた大根占町郷土誌が、このほどできあがりしました。誌名を「大根占町誌」とし、内容は十六編にわけ、非常に詳しく記されています。

この町誌は昭和四十二年六月、明治百年を機会にわれわれ祖先や先人が郷土のために尽くした足跡や、郷土の自然の流れと移り変りを記録してこれからの町発展の資料にしよう、と、記念事業としてとり上げられたものです。

規格A5版、表紙濃紺布クロス、本文九一四ページ、価格一部二千元送料二百円、ただいま購読者を募っています。連絡先、町役場総務課

町内交通事故情報

10月末現在

	件数	負傷者	死亡
前月	4	5	0
本月	2	3	0
本年累計	32	45	0

交通安全協会調べ

11月24日	インフルエンザ予防接種二回目、一般、宿利原小
11月25日	同神川小
11月26日	同一回目、池田小
11月29日	レントゲン検診
12月1日	脱ろう分
12月1日	出かせぎ実態調査
12月2日	県老人福祉施設部会(ホテル竹屋)
12月3日	インフルエンザ予防接種一回目、一般、大根占小
12月3日	同二回目、池田小
12月9日	町学校音楽祭
12月9日	大根占小
12月4日	十キロロードレース(根占・大根占) 郡青年団

町民ひろば

しよりの不自由のない毎日が、非常によく配慮されています。入所にあつては、民生委員が相談に応じます。どうか自由のない縛られた施設ではないかな、という概念を捨てて、おとしよりの集団生活の広場だという気持ちで気軽に入所されることを望みます。



みんなの力で 農業を近代化させよう

農業資金結集運動に協力を

農家経営は時の流れにつれて、好むと好まざるにかかわらず激しく変わりつつあります。このようななかでいくつもない経営と生活をしていくためには、経営内容の改善工夫がぜひとも要求されます。

また農業の進展は、町の繁栄につながることはいうまでもありません。そこで、この農業改革をしていくためにはどうしても資金が必要で、農家の資金面をあらゆる農協におきまして、その蓄積に努力していただきますが、これは他産業従事者と同様の生活水準にもつていくための農業の改革です。町では農業資金結集推進協議会

を昭和四十二年につくり、資金結集、資金利用の指導を計ってきております。過疎の中で頑張っている農家、その振興のためにみなさんの暖かい本運動へのご理解ご協力を願います。貯金はひとまず農協へ

農業資金結集

取扱窓口

町農業協同組合

運動期間

11月10日から
12月31日まで



町政の健全な 発展をめざし

町政座談会

町においては現在、し尿、ごみ処理、中学校統合、過疎問題などいろいろ当面することが山積しており、すこれらのご意見を町民のみなさんがたに理解していただき、また町に対するご意見、ご要望などを直接おききして、健全な町政発展のためにと部落で町政座談会を開きまし

町長が『町政の現状』について説明をし、対話のかたちで約二時間余りいたしました。部落民のかたがたの町政に対する関心は誠に高く、特にごみ処理関係、墓地公園、明年から支給される児童手当など、みぢかなものについての意見が圧倒的に多いようでした。今後、全部落において、本年度中に実施する計画です。みなさんがたの建設的なご意見をお聴かせくださることを望んでいます。町では会でのご意見などを総合的に検討して、町政へ取り入れて行きたいと思っております。

た、まず今回は神之浜地区の六部落において十月二十日をかわきりに部落ごとに会をもちました。当日は開会にあたって

軽自動車 7,500円

自動車重量税

12月1日から

原動機付自転車・特殊自動車は非課税

経済の急速な発展に伴い、自動車の台数も近年急激に増加していますが、その結果、道路混雑や交通事故などが大きな社会問題となっています。そこで道路などの社会資本を充実するための財源として、自動車重量税が創設され、昭和46年12月1日から施行されることになりました。

以下、自動車重量税について説明しましょう

重量に応じた税金

自動車重量税は、道路運送車両法の規定により自動車検査を受ける自動車（検査自動車）および使用の届出により車両番号の指定を受ける軽自動車（届出軽自動車）に対して、その重量に応じて税金がかかります。

ただし、検査自動車のうち大型特殊自動車は無条件で非課税とされ、また届出軽自動車のうちすでに車両番号の指定を受けたことのある中古車は、その指定の際に交付されていた軽自動車届出済証を返納した旨の証明書を添付して、新たに使用の届出をすることを条件として非課税とされています。

なお、原動機付自転車や小型特殊自動車のように、自動車検査、届出の制度がないものは、自動車重量税の対象にはなりません。

「検査を受けるとき
使用の届出を受けるとき」

使用者が納付

自動車重量税の納税義務者は、検査自動車や届出軽自動車の使用者です。検査自動車については陸運事務所で検査を受けるときに、また、

届出軽自動車については陸運事務所へ使用の届出を受けるときに、税額に相当する額の自動車重量税印紙を納付書にはって、陸運事務所（自動車検査場）の窓口へ提出し納めることになっています。

この印紙は、自動車重量税専用のものを使用することになっており、たとえば収入印紙などをはっても正当な納付になりませんから、自動車検査証の交付（または有効期間の記入）や車両番号の指定は受けられません。納付の際は、自動車重量税印紙であることをよく確かめてご使用ください。

自動車重量税印紙は、自動車検査登録印紙売りさばき所や一部の郵便局などで販売しています。

税率はどうなっているか？

税率は、自動車の区分や重量により次のように定められています。

1 検査自動車のうち自動車検査証の有効期間が2年と定められているもの

イ 乗用自動車（二輪車を除く。）

(イ) 車両重量が0.5トン以下のもの
……………5,000円

(ロ) 車両重量0.5トンを超えるもの……
車両重量0.5トンまたはその端数……
ごとに5,000円

ロ、乗用自動車以外の自動車（二輪車を除く）

(イ) 車両総重量が1トン以下のもの
……………5,000円

(ロ) 車両総重量1トンを超えるもの………

……車両総重量またはその端数ごとに

5,000円

ハ、二輪の小型自動車 2,000円

(2) 検査自動車のうち自動車検査証の有効期間が1年と定められているもの

イ、乗用自動車（二輪車を除く。）

(イ) 車両総重量が0.5トン以下のもの

……………2,500円

(ロ) 車両総重量が0.5トンを超えるもの……
車両総重量が0.5トンまたはその端数ごとに
2,500円

ロ、乗用自動車以外の自動車（二輪車を除く。）

(イ) 車両総重量が1トン以下のもの………
……………2,500円

(ロ) 車両総重量が1トンを超えるもの……
………車両総重量1トンまたはその端数ごとに
2,500円

(3) 届出軽自動車

イ、二輪車以外の軽自動車… 7,500円

ロ、二輪の軽自動車…………… 4,000円

(注) 車両総重量＝車量重量＋最大積載量＋
(定員×55キログラム)



郷土芸能・踊りなど

青年団
文化祭
舞台せましと大熱演

大根占町連合青年団(団長今熊俊郎以下団員九十名)主催による昭和四十六年青年団文化祭が、さる十一月三日の「文化の日」に大根占小学校体育館に、会場いっぱいのご来場を得て、盛大に開催されました。

当日は各校区青年団から一人づつ意見発表をし、その後おどろ、歌謡ショーなど非常に多彩なものが続出、特に郷土芸能の神舞い、棒おどりに似た婦人会のさつじ踊りは、見る人の目を引きました。また歌謡ショーではギターと大鼓による伴奏、歌も素人ばな



やすき節 (鳥井戸青年団)



エレキ演奏 (神之浜青年団)

れたものがあり、会場われんばかりの拍手をあびていた踊りも出演回数が多いなかでよくこなされていたようでした。練習に励み、この日のため

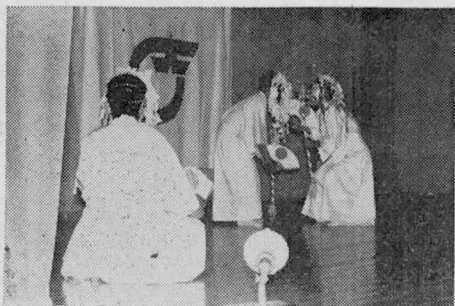
にみんなに楽しんでもらおうとその努力のあとがうかがわれたようです。

この文化祭も町婦人会の後援もあってか、大好評に終り誠に盛大、かつ、近頃このよう催しに恵まれないわが町にとっては、非常に有意義な一日として終わりました。

交通事故は日増しにふえ、毎日その痛ましいように接している。戦後の昭和二十一年以降四十五年末までの本県の交通事故死者は、なんと死者二、六七五人、負傷者七、一五六〇人となつています

交通事故 県が救急病院を告示

事故防止対策には、国はもとより地方自治体などにおいて、道路環境の整備交通安全思想の高揚に努めていますが、自動車交通の急激な伸展にともな



神舞い (城元青年団)

い増加の傾向をたどっている。そこでこのように増大している事故、その負傷者の救護は、なんとしても重大であることから、救急医療対策を確立していなければならない。このようなことから県では、病院、診療所に救急医療業務を積極的にしていただくために、同業務をしたい旨の申請をしていただいて、告示することにした。当鹿屋保健所管内では、次の病院などが今回告示されております。

泣き寝入りせずに頼もう

検察審査会のはなし

一、検察審査会とは
ある人が交通事故で大けがをした。相手の無謀な運転が原因なのに、相手は、勝手な弁解を並べて、まったく反省の色がありません。警察や検察は、相手を取り調べていたが、やがて、検察官は、裁判で相手の過失を明らかにするだけの証拠がないという理由で、起訴をしないという決定をした。しかし、被害者の目から見ると、相手の過失は明らかであり、その証拠も十分あると思われる。検察官の起訴をしないという処分は納得できず、相手が裁判にもかけられないで大きな額を払っていることに、耐えがたい思いをするかもしれません。これは、ほんの一例ですが、悪質な犯罪が行なわれたとき犯人に相当の刑罰を科すべきだと考えるのは、被害者だけでなく、身近にその犯罪を知

る人びとの正義感でもあり

いつそれが事故にそう遇するかわかりません。これら病院などは、忘れないようメモでもしておきましょう。

- | | |
|-------|--------|
| 検見崎病院 | 石踊病院 |
| 井ノ上病院 | 福里外科 |
| 山村病院 | 鹿屋中央病院 |
| 瀬口病院 | 県立鹿屋病院 |
| 川原病院 | 白浜外科 |
| 浜崎病院 | 小倉病院 |

※ いずれも鹿屋市内の病院です。

危険

水平うち

十一月一日から狩猟解禁になりました。しかし、狩猟は危険な銃砲を扱うことから全国的に事故の増加が目立ってきています。本県でも一昨年十二件(死亡二名、負傷十一名)発生した事故が昨年は七件(死亡二名、負傷五名)と減少してはいますが事故は皆無に防がねばなりません。

このような事故は狩猟する者の常識的なルールとして、猟場を出たら必ず、たまを抜くとか、たまを込めているときは、

手続など検察審査会のことについて詳しく知りたいかたは次の審査会事務局にご相談ください。

鹿屋検察審査会
鹿屋市打馬町
一丁目二番十四号
(地方裁判所
鹿屋支部内)



こんなうちはやめよう

① 事件の発生

② 警察の調べ

③ 検察官

④ 不起訴

⑤ 申し立て

⑥ 審査

⑦ 議決

⑧ 判決

死者戦後最高の

昨年と同じペース

12月26日 秋季全国火災予防週間

昭和四十六年上半期における火災の出火件数は、三九、五〇四件で、前年同期に比べて二二四件〇、六パーセント減少した。これは一日あたり二一八、三件で、およそ六分三〇秒に一件の割合で火災が発生していたことになる。

均二億四千万円が失なわれていることになる。

焼損面積は東京・霞ヶ関ビルの九、五倍にあたる建物が灰になり、林野山林では本町全面積の約一、五倍に相当する。

一方死者は元旦の朝、姫路市のホテル火災によって生じた一名の死者から始まった今年の死者数は、八月九日で九六人に達した。昨年一、〇〇〇人に達したのは六月三十日だったので昨年より約四十日遅い。このように昨年に比べて死者が少ない理由として昨年は四月に大阪市のスガ爆発火災により一度に七四人もの死者を出した事故があったためである。今年はこのような大きな事故はなかったといえ、一月二日和歌山市『寿

これら火災による損害額は四三八億円にのぼり、一日平均

学校は町民体育大会でも地区優勝の大きな原動力となっており、その実力はみんなが認めるところとなっています。きつと県でも立派な成績を納めてくれることでしょう。

県下中学校駅伝大会への出場チームを決める四ヶ町中学校駅伝大会は、絶好の秋日和

成績は次のとおり
①宿利原A ⑤大根占 ⑧神川 ⑨池田 ⑩宿利原B

宿利原中 県下中学校駅伝大会へ

四ヶ町では五連勝

に恵まれた十月二十三日に開催されました。当日は午前十時に根占中グラウンドを出発、大根占農協神川支所前折り返しで七区間、二十二キロを一チームが出場、若い力をみなぎらせて力走沿道には沢山の人が応援にかけつけ声援していました。本町の宿利原中学校は予想どおり連続優勝をはたし、県大会へ出場することになりました。この

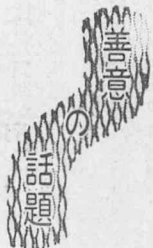


(宿利原中の力走)

司由桜」火災(死者一六人) 一月三十一日美唄市「美容院寄宿者」火災(死者十人)など痛ましい事故が発生しました。

昨年同様に比較した火災は二二四件減少し、また火災による死者も七六人減少して、いずれも昨年をわずかに下まわっており、死者については、前に述べた大阪ガス爆発火災を除けば、本年も戦後最高となった昨年とほぼ同じペースとなっております。

以上のようなことから、今年も火災多発期を迎えるため国民ひとりひとりの防火意識の向上を図り、火災の発生防止と人命損傷事故の絶滅を期するため、全国いっせいに火災予防運動が展開されることになりました。町でも消防団などにより防火思想を高めていただくよう、同期間中、啓蒙にあたることにしております。町内から火災が発生しないようみんなが気をつけましょう。



次のかたがたから、それぞれご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。

△町社会福祉協議会へ
▲香典返しにかえて
木場の故河口キクさんのご遺族、河口直江さんから 一万円
麓の宮里光子さんのご遺族 五千円
宮里昭二さんから

戸籍に関する情報は
ホームページ上では
掲載していません

▲町広報紙送付の謝礼に滋賀県にお住まいの山添肇(瀬戸山出身)さんから 二千元
△錦江園(老人ホーム)のおとしよりのかたがえ神川老人クラブから 菓子
大根占電報電話局から
大根占小学校四年二組(田代景利教諭)の児童のみなさんが、おとしよりのかたがたに楽しんでいただけて、少しでも一日が短かいようにと、劇や合唱などして慰問しました。



歳末助けあい運動

12月1日から21日まで

住民の自発的な運動として始まったこの運動も、今日では全国各地で活発に展開されています。しかし、それぞれに単なる年中事のひとつひとつとして、情性的になっっているのではないのでしょうか。
最近の経済発展に伴って国民の生活水準は、年々向上していますが、一方では、その発展からとり残された心身障害者や低所得者など恵まれない人たちがたくさんいます。それに今年は、豪雨や台風による数多くの被災者も出ました。このような人たちが、明るく楽しい正月を迎えることができるよう、すべての人が暖かい思いやりをもって助けあい運動に協力されることが望まれます。

